

保護者様

横浜市立川和小学校
校長 工藤 健彦

立春が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、次のように今年度の学校評価をしました。職員で評価し、さらに教育懇話会の皆様に評価をしていただきました。上段が職員の評価で下段が教育懇話会でいただいた評価です。

この学校評価をもとにさらに職員一同教育目標を達成させる努力を重ねていきます。

横浜市立川和小学校 学校評価表

平成20年2月9日

評価 4：十分達成できている。 3：おおむね達成できている。
2：どちらかというとは達成できていない。 1：ほとんど達成できていない。

学校教育目標 互いに高め合い、自分らしい活動ができる力を伸ばします

評価項目	目 標	具体的な取り組みと子どもの変容
学校教育目標の具体目標	人と社会と自然と共に生き、かわりを大切にする子どもを育てます。	<ul style="list-style-type: none"> 見学や学習を通して、場に応じたあいさつが進んでできる児童が増えてきた。 水田や大豆の学習などを通して地域の人や自然とふれ合うことで、周囲の人たちに支えられていることに気づき、社会や自然に対する感謝の気持ちがもてるようになってきた。
	一人一人の力が発揮できる場を豊かにし、自分で考え、解決、表現する力を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学年の活動において、一人一人に活躍できる機会を作ることによって、自分に自信をもち、伸び伸びと活動できる子が増えた。苦手なことにも努力できる力につながった。 一つの問題に対していろいろな解決方法で取り組むことにより、多面的にとらえたり考えたりする力がついてきた。
	進んで問題を見つけ、粘り強く解決しようとする力を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> めあてや課題を明確化することで、学習に興味をもち、意欲の高まりがみられた。 身近な題材を問題として取り入れたり、単元導入の工夫や児童の思考を大切に授業展開を行ったりすることにより、根気よく課題に取り組もうとする姿勢が見られるようになった。

評価項目	目 標	具体的な取り組み	子どもの変容	評価
確かな学力を育	子どもが“できた・わかった・楽しい”という達成感、成就感、成功感を得られるような授業をめざし、個に応じた指導と分かる授業を展開するために指導と評価の一体化を図った授業の研究・研修に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 内外の講師等から指導を受ける機会を積極的に設定し、授業力の向上に努めた。 少人数、習熟度別指導など指導方法の工夫を行ってきた。 学習や生活に特別な配慮が必要な児童に対して適切な支援を行なった。 学習状況調査の結果を分析して問題傾向の把握に努め、指導に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> 小グループでの話し合い学習を効果的に活用することで、自分の考えに自信をもって発表したり、友だちの考えから自分の考えを見直したりすることができるようになり、伝え合う力が育ってきた。 話し方・聞き方など学び方が身に付いてきた。 少人数指導を実施することで、時間をかけてじっくり問題に取り組む、自分の力で解決しようとする態度が育ってきた。 	3 ----- 3
	「自分の思いをはっきりさせて進んで表現することを通して、伝え合う			

む ブ ラ ン	力を育てる指導の在り方」～国語科における言語能力を伸ばす指導～をテーマとし、国語科を中心に重点研究を行っています。		<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別指導により、学び合いや助け合いの姿が多く見られるようになった。 ・様々な学習活動を取り入れたり、個に応じた指導を工夫したりすることで、“楽しい、わかった”という喜びをもつことができた。 	
	<p>(重点取組項目)</p> <p>学習の定着や学習意欲を高めるためにも学びの環境を工夫していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・領域ごとに掲示 ・展示など学習環境の工夫に努めた。 ・全学年 スキルタイム（毎週火曜日 8：25～8：40）を設定し、くり返し学習の時間としてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物にある既習事項を手がかりに自力解決したり、学習の見通し・振り返りに生かしたりすることができた。 ・補充資料を活用したり、作品見本や段階見本を掲示したりすることで、学びの意欲が高まった。 ・スキルタイムにより、漢字や計算など基礎的な学力が定着してきた。具体的な目標を設定することで、どの子もやればできるという実感をもつことができた。 	3 ----- 3
確 か を 育 む ブ ラ ン	平成21年度実施予定の「英語教育」にむけ、平成19年度から校内で研修を重ねていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・アシスタントティーチャーをさがし、2月に英語の授業を実践し研究会をもつ準備をしている。 		
	<p>(重点取組項目)</p> <p>読書活動を推進し、国語力の向上と豊かな心の涵養に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間、ブックトークなどで本と接する機会をたくさんもつようにした。 ・毎週水曜日を読書の時間として、8時25分～40分の15分間にした。 ・低学年では担任等による読み聞かせを継続的に行っているが、高学年でも取り組み始めた。 ・毎週金曜日中休みに教育ボランティアによる「お話会」を行っているが、高学年も多く参加できるようにしてきた。 ・高学年では読書の幅を広げるために区の図書館司書の方にブックトークを依頼した。 ・読書カードの取組で読書活動の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書の時間」を楽しみにし、本好きな子が増えてきた。静かに集中して読む子どもが増えてきた。 ・読み聞かせをすることで本に興味をもつようになってきた。 ・ボランティアの方によるクラスでのお話会、図書室でのお話会などにより図書室を利用する子が増えた。 ・ブックトークを通して一つのテーマでいろいろな本に出会えることやおもしろい本がたくさんあることに気づくことができた。区の図書館に行くきっかけや読書意欲の向上に役立った。 ・読書カードに記入することで積み上げを実感することができた。 	3 ----- 3
	豊かな心を育むためにも、他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、真理を求める心、自然を愛し美しいものや	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間、総合的な学習の時間を全クラスとも年1回以上授業公開をした。 ・職員の人権研修を行い、資質を高めるとともに、各 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級作りを中心として、係活動や道徳、人権教育を通して、みんなと一緒に活動することの楽しさや、学級のみんなのために自分が役立っているという自己有用感 	3 ----- 4

<p>豊かな心を育むプラン</p>	<p>崇高なものに感動する心、郷土や国を愛する心、世界平和、国際親善に努める心、正義感や公平さを重んじる心、公共のために役立とうとする心、感謝の心等を道徳の時間、特別活動を中心に、各教科等あらゆる教育活動を通じて育成するようにします。</p> <p>人とのふれあい、自然とのふれあい、社会とのふれあいを大切にした体験活動を重視し、水田による米作り体験を本校の特色ある教育活動の中心として、異学年交流、地域との交流等の活動を行っていきます。</p> <p>(重点取組項目)</p>	<p>学級でハートの合い言葉を作り、教室とハートランドコーナーに掲示した。</p> <p>・教育ボランティア等の支援活用を積極的に進めた。</p> <p>・なかよし学年を生かした取り組み(なかよし遠足・交歓給食・もちもちまつり等)の運営を進めた。</p>	<p>をもてるようになった。</p> <p>・言葉遣いや接し方など、人に優しくしようとする姿がよく見られた。</p> <p>・自分を見つめ、人を見つめるという視点が育ってきた。</p> <p>・電車の乗り方などの公共のマナーをよく理解し、礼儀正しくすることができた。</p> <p>・ミマモールの方々や地域の方々に積極的に挨拶することができるようになってきた。</p> <p>・地域の方々との交流や異学年との交流を通して、お世話になった方々へ感謝の気持ちを表したり、下学年を思いやったりする姿が見られるようになった。</p> <p>・大豆や米作りを通して、地域の方とふれ合い、多くの方の支えの中で活動していることを実感できたり、自然とふれ合うことができたりした。</p>	<p>3 + ---- 4</p>
<p>健康な体と体力向上のプラン</p>	<p>子どもが自分の体格や体力を知るために全学年定期的な身体計測と体力テストの実施に取り組みます。</p> <p>学習の支えともなる心と体、望ましい生活習慣の形成を図るために、健康教育の指導計画と食育計画を作成し、計画的に取り組みます。</p> <p>運動・スポーツに親しむ機会の充実に努めます。</p> <p>(重点取組項目)</p>	<p>・新体力テストを全学年全種目を実施した。</p> <p>・発育測定の結果をもとに自分の成長が分かり、よりよい生活ができるよう支援した。</p> <p>・給食カードなどを使い、バランスのとれた食事や正しい食習慣について指導した。</p> <p>・体育的な行事に積極的な参加をすすめた。</p> <p>・休み時間を中休み25分、昼休み20分確保し、外遊びを奨励した。</p> <p>・地域の体育的な行事への参加を奨励した。</p>	<p>・新体力テストを実施することで自分の体力や身体の成長を実感し健康な体に関する意識や運動に対する意欲を高めることができた。</p> <p>・体力テストの結果を生活や学習の中でどのように生かしていくか今後の課題とする。</p> <p>・個に応じた指導・支援をすることで食事や生活の改善を図ることができた。</p> <p>・苦手なものも食べようとする子が増え、給食の残りも少なくなった。</p> <p>・鉄棒や縄跳び、キックベースなど遊びの幅も広がり、外で元気に遊ぶ子が増えた。</p> <p>・地域のスポーツの行事に参加し、地域の方と親しくなる機会をもったり、運動への意欲を高めたりすることができた。</p>	<p>3 ---- 3</p> <p>3 ---- 3</p>
<p>子どもの安全</p>	<p>安全対策</p> <p>・児童が安全な学校生活を送ることができるように安全管理や指導の徹底を図っていきます。</p> <p>・安全な登下校ができる</p>	<p>・教師が通学路を実際に歩くことにより、安全に必要な指導をした。</p> <p>・交通安全教室を実施し、安全な歩行の仕方、自転車の乗り方、危険な場面につ</p>	<p>・大きなけがや事故もなく学校生活を送ることができた。</p> <p>・廊下を走ったり、通学路を守らず友達と一緒に登下校したりしている子が見られた。廊下の歩き方、登下校についての指導を繰り返し</p>	<p>3 ---- 4</p>

全 を 確 か に す る ブ ラ ン	ように交通安全訓練や交通安全指導を行っていき ます。	いて指導した。	行い、安全への意識を高めていく。	
	防犯対策 ・ P T A や地域と連携し、児童の安全な登下校ができるようにしていきます。 防災対策 ・ 避難訓練や引き取り訓練等を実施し、その反省を次の訓練に生かし、非常時に備えていきます。	・安全に下校ができるようミマモールの方々にご協力いただき、集団での下校を実施することができた。 ・防犯教室を実施し、緊急時の行動や対応の仕方を指導した。 ・計画的に避難訓練を行い、非常時の行動について指導した。	・低学年は、保護下校にも慣れてきた。 ・ミマモールの方の名前を覚え進んであいさつをし、見守っていただいている意味を理解して登下校できるようになってきた。 ・集団で下校することや、避難訓練・防犯訓練を継続して実施することにより、安全な行動の仕方が分かるようになってきた。	3 4

今後の課題

人と豊かに関わることができるようにする。

- ・話を聞く力や自分の考えや気持ちを話したり書いたりして伝える力を育てる。

規則正しい生活リズムを身に付ける。

- ・早寝早起き、朝食を食べることなど生活習慣にかかわることについて家庭との連携をさらに深めるようにする。家庭学習の習慣を身に付けるようにする。

自分の学力を知り、学力の向上をはかるために、学習に意欲的に取り組むことができるようにする。

- ・学習の準備ができること・学習活動に自主的に取り組むことができるようにするためのスキルの習得・「学び方」を学ぶこと・情報収集能力を高める。

国語における言語能力を高めるようにする。

- ・読書に日常的に取り組み、読書を習慣化できるようにする。
- ・言語感覚を磨き、自分の思いを豊かに表現できるようにする。

教育懇話会でいただいた主な意見

確かな学力を育む

- ・今まで日本は技術を売って成長してきた。小学生のうちから基礎学力をつけたい。
- ・川和中学校生徒の進学の様子をみると、川和小学校が劣っているということはない。川和小学校での体験学習が基礎になって生きていると思われる。
- ・多くの体験をさせることが大切である。机上の学習だけでは「感覚」が身につかない。

防犯対策

- ・ミマモールの人数が不足している。学校や P T A が声をかけてほしい。
- ・子どもたちは、あいさつするようになってきたが、保護者の方から声をかけてもらうことは少ない。子どもの安全な登下校を地域の方々にお任せになっているところがある。保護者との接点をもつ機会があるといい。

運動・スポーツに親しむ

- ・もっと多くの児童に地区の運動会等に参加してほしい。保護者の協力も得ていく必要を感じる。